

開催結果報告書

令和 5 年 6 月 1 日

滝川市教育委員会教育長 様

江陵中学校区学校運営協議会
会 長 本 間 章 久

学校運営協議会の開催結果について、本書のとおり報告いたします。

会 議 名	第 1 回 江陵中学校区学校運営協議会	
開 催 日 時	令和 5 年 5 月 31 日(水)	
開 催 場 所	滝川市立江陵中学校	
出席委員氏名	別紙参照	
事務局出席者 職 ・ 氏 名	別紙参照	
会 議 議 題		協 議 結 果
・ 会長、副会長の選出		・ 会長に本間章久委員を選出した。 ・ 副会長は塚本英樹委員、中西誉明委員、埴淵義和委員を選出した。
<報告> ①令和 5 年度江陵中学校区各学校経営方針 ②各校の現状と課題【各教頭】について		・ 令和 4 年度江陵中地区第 3 回学校運営協議会で承認済みのため、確認のみ
<協議> ①部会構成について ②前年度の振り返りの確認 ③今後の予定		① 資料の通りで、意見なし。承認する。 ② 資料の通りで、意見なし。承認する。 ③ 資料の通りで、意見なし。承認する。
<部会協議> ①教育支援部会		<教育支援部会> ・校区一斉交通安全街頭指導への協力は例年どおり実施する。時期については、教頭間で日程調整した上で決定する。 ・職場体験学習等への協力は小学校における中学生や高校生の受入れを行う。 ・人材バンクの活用については食育講師招聘授業等、これまでの取組を継続させるとともに、学校(児童・生徒)と地域を結びつける人材の拡充に努めていく。そのために、各校で活用している人材及び各校のニーズ(困り感)を洗い出し、次の部会で確認・検討する。 ・地域による登下校中の見守りについては、各校区においてどのような方に見守り活動を行っていただいているのかを確認し、その上で、次の部会でどのようなかたちで感謝の意を表すことができるのかを考えていく。

②小・中連携部会	<小・中連携部会> ・令和5年度の活動内容(入学前・後アンケート)結果を共有し、課題や改善点について明確化するとともに、保護者及び地域住民の視点で疑問点、改善点等について意見をもらう。 ・一乙二交流会への参加について、交流会だけでなく、各小学校で実施される長期休業の学習会に中学校生徒がボランティアとして学習支援を行っている様子等を、学校運営協議委員に参観してもらい、改善点等について意見をもらう。 ・「家庭学習週間」の取組結果の共有について、詳細なデータ等の検証ではなく、各校における「家庭学習週間」の取組や、日常的な家庭学習の指導の在り方等について交流する場を設定し、好事例を共有化するとともに、家庭学習の取組向上に向けた保護者及び地域住民の視点での意見をもらう。 ・小中連携及び地域との連携の在り方についての各取組は、保護者及び地域住民が積極的に参画することが困難であることから、今年度の活動の中で、次年度以降の学校運営協議会の在り方について検討していく必要がある。
③学校関係者評価部会	<学校関係者評価部会> ・学校評価部会の年間推進計画を立てた。 ・評価担当者の割り当校を決めた。 ・評価内容・方法についても共通理解・共通化を図る。①前期～中間評価 学校の様子や今年度の課題など説明及び授業参観。②後期～最終評価 評価アンケートの説明及び授業参観を行う。 ・学校行事参加について(卒入学、運動会・学芸会、コスモスデー等)→ 評価委員の方々に参観していただきたい行事を決定し、各学校で案内を出すものと評価部会(学校運営協議会)として案内を出すものに整理する必要がある。 ・今後の課題について、(1)評価委員の方々に参観していただく行事を何にするのかの検討と、案内発出元の確認、(2)各校での前・後期に行われる2回の評価部会について、①やり方・流れの確認と、②各校での評価部会開催日時の決定(各校の実情に応じて)、③各校の実施案内はどこで行うかの確認、(3)各校での学校評価項目に共通項目を設定する。いつ、どこで、だれが、どのように原案を提示し決めていくかの検討について出された。
※部会協議終了後、部会ごとに解散。	
備 考	